

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-25

学校名・団体名	南魚沼市立大崎小学校
HPアドレス	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510008
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	ビオトープ学習を通じた環境教育の推進
<p>〈活動・研究の意義, 目的〉</p> <p>①日常的なビオトープの観察を通し, 豊かな自然が残されていることを児童に実感させる。</p> <p>②生活科, 理科等の時間に, 学年の発達段階に適した内容を設定し, 児童が教科の学習内容を深める格好の場として機能させる。</p> <p>③児童が, ビオトープの携わった地域の方々とふれあい, 当地域の自然について理解を深め, 大切にしようとする心情を醸成すると共に, 自然と共に生きてきた地域の人々の思いを知る。</p>	

1 活動内容

(1) 活動の時期及び内容

①ビオトープ・オープンイベント 11月17日(火)実施

※講師謝礼必要

完成直後は、人工的に作られた感じがあったが、一夏を經過し周囲に草も生え、自然な形に見える池となってきた。このビオトープは、本来ならば当地域にある自然を再現した池となるよう設計した。この場所は、これまで田となっていた場所なので、水を引き入れ排水する水の交換システムも整えられている。まだまだ生息する生物種は少ない状況だが、3年も経過すれば自然に流入する水を通して、多くの生物種が生息するようになると予想される。



ビオトープ設置式

そこで、ビオトープづくりを提案していただいた地域の方々の思いを知る「ビオトープ・オープンイベント」を実施した。イベントでは、地域の方々から「伝えたい、地域の自然」について語っていただき、完成記念式典とした。これらの活動を通し、郷土愛の育成につなげている。

設置者の講話を通して、昔の大崎の様子について学ぶことができた。当地域は、のどかな農村のように見えるが、農業が多くなってきていることや、自然が豊富に見えても、人工的に整備された自然であり、動植物が失われてきていることなどを詳しく学習した。最後に、自然を守っていくことの大切さについてまとめていただいた。

②「ビオトープの科学」記念講演会の実施 11月27日実施

※講師謝礼必要

理科教育センター指導主事より「ビオトープから知る自然環境の不思議」について、児童向け学習会を実施した。学習会では、ビオトープを使った科学研究の方法等を講演いただき、ビオトープに関する興味・関心を高めることを通して地域の自然環境についての理解を深めた。この記念講演会には、ビオトープの設置者も参加していただいた。



ビオトープ講演会(3・4年生)



ビオトープ講演会(5・6年生)

講話では、子どもたちに身近なカエルなどの生きものを例に、環境条件によって生息できる生物とできない生物がいること、農業の生産性ととのバランスの中で自然を保護していくことの重要性などのことを学習した。また、ビオトープを維持していくために気をつけなければならないことも学んだ。児童がビオトープを通して、自然について関心を深め、大崎の地に生まれ育ったことを、喜びと共に振り返れることを願っている。



地域の方々も講演会に参加されました

③その他のビオトープを活用した学習例

各学年の教科内容に即して学習素材として活用する。

ア 低学年の生活科

・生き物の観察 ・草花遊び

イ 中高学年の理科

・食物連鎖 ・こん虫 ・生物のくらしと環境

※消耗品費必要

(2)実施方法

①学校支援地域本部との連携

地域の人材を活用した学習を年間指導計画に位置付けた。複数年度に渡って学習が効果的に推進できるよう教育課程の改善を図った。学校支援地域本部との連携により、地域の人材ボランティアとの交流が深まった。また、農業の学習では、地域の専門家を講師にして、学校田などの体験的な取組を実施した。活動ではビオトープと関連させて地域の自然環境の視点から学びを深めることができた。

②地区理科教育センターとの連携

ビオトープに関する学術的なことの理解を深めるために、地区理科教育センターの指導主事を招聘し、学年別に、児童向け講演会を企画した。

③理科の年間指導計画への位置付け

理科の年間指導計画を見直し、関連単元の教材としてビオトープ学習を位置付けた。

2 成果

(1)地域の環境についてよりよく発展させようとする姿勢の高揚

本取組を通して環境保全に対する児童の意識が高まった。当地域が本来は極めて豊かな自然環境に生まれ、農業が発展してきた地域であることを再認識し、環境保全の大切さを理解した。また、農業などの自然を基盤とした産業は、地域に根ざした文化を形成し、これらの継承者として「大切な大崎の自然」を守っていきたいという意識を育んだ。

(2)郷土愛を深めふるさとへの愛着と誇りの育成

地域で農業に励む方々と接し、地域の自然の豊かさを再確認した。多くの地域の方々と接する活動ができたことにより、自然と共に地域を興してきた先人への感謝と尊敬の心が育ってきている。



完成したビオトープの全容



ビオトープの看板も設置しました

(3)今後の展望

ビオトープを地域の憩いの場とするため、木道の設置などさらなる改善案を模索している。ビオトープが児童の利用のみならず、地域の活性化につながることを期待している。